

第1回 研 修 会 (議 事 録)

記

1. 実施日時 : 令和6年7月24日(水) 午後1時0分～午後2時10分
2. 場所 : 幼保連携型認定こども園矢場川幼稚園 ひまわり組保育室
3. 参加者 : 理事長、園長、大竹 恵子、阿部 恵子、高山 真理、新藤 玲奈、

津田 優紀子、阿佐美 有香、市川 奈央、斎藤 そら、

4. 研修目的 : 『虐待・不適切保育の防止』
5. 研修内容 : 別添資料を2名の講師(鈴木弁護士、岩月弁護士)から

レクチャーを受ける。

6. その他質問等

◇ 岩月先生より質問

保育園・幼稚園などの保育・教育施設以外に【虐待禁止】を明文化しているところはどこか知っていますか?

正解は、介護施設、病院、障がい者施設です。

これらの施設がわざわざ【虐待禁止】を明文化している理由はなぜですか？

正解は、立場が弱い立場と強い立場に分かれていて、こちらがいろいろとしてあげないといけない。弱い立場の人たちは自分自身では声を上げることができないので守ってあげなければならない。

私たち保育施設も「きつい」「ストレス」「過酷」な職場です。

不安な心理状態に陥りやすい環境に置かれています。

躰と虐待は表裏一体で複雑な問題（これが正解であるとは言えない問題）であるが時代に合わせながら、今一度、職員全員で考えていただきたい。

◇ 今回のレクチャーの感想を出席職員にお聞きします(鈴木先生から)

★ こどもの係わりのセルフチェックを園内研修で行った際に確認したのだが

「このケースもそれに当てはまるね」とか「似たような事をしていた」とか

定期的にチェックすることが大切だなと思った。

★ 保育士の「虐待・不適切保育」のニュースが、最近たびたび目にする機会が増えてきて、こん

なことをする保育士がいるんだなと他人事であったが、今回のお話を聞いて、セルフチェックの大切さが分かりました。

★ 園外保育などで、子供たちを外につれて行った時に、いろいろと忙しいことがあり、忘れてしま

う事が多くあって、これから園外に出ることも多くあるので、気を付けていきたい。

★ なぜ保育士が「虐待・不適切保育」等の行為をしてしまうのか不思議だったのだが、ニュースでは伝わっていない部分があって、子供と保育士の関係が悪化してしまった為に行ってしまったのではないかと今一度、自分の保育を振り返りながら保育をしなければならないと思いました。

★ チャックリストを自分自身振り返りながら保育しているつもりだが、時間的に余裕がないとか、職員が不足していて慌てていたりした時に余裕がなくなり不適切な保育になりかけたことがあった。これからは、そんな時こそ気を付けて保育していこうと思った。

★ 子供とのコミュニケーションをとる時間をなかなかとれないと言うのは簡単だが工夫して職員間で情報を共有していきたい。

★ 子供の年齢が高い子供から低い子供を保育していますが、高いから大丈夫とか低いから危ないとかの思い込みがあったが、今回のお話で複数の保育士で、保育することの重要性がわかりました。

★ 私たちの年代の保育と現在の保育が変化していて、正直ついていけない。ですが、意識を変えていかなければならないと再認識しました。

7. 研修会の様子



以上